閉校記念シリーズ
ありがとう。わが母校

今号では、3月末で閉校を迎える5つの小学校の在校生や卒業生の皆さんに母校に寄せる思いを語っていただきます。

天草市学校規模適正化（学校統廃合）推進計画に基づき進めてきた学校統廃合も、今年度をもって区切りを迎え、4月からは小学校17校、中学校13校となります。

※4月1日からは本渡東地域の志柿・本渡東・瀬戸の3つの小学校が統合して「本渡東小学校」が、有明町の大楠・浦和・島子の3つの小学校が統合して「有明小学校」が開校します。

志柿小学校

あゆみ

明治 8	現高雲寺前の一部を使用し、創立
大正 15	新校舎落成移転
昭和 16	志柿国民学校と改称
昭和 22	志柿村立志柿小学校と改称
昭和 29	本渡市立志柿小学校と改称
平成 18	天草市立志柿小学校と改称

6年間をふり返って

6年
畠山（はたけやま） 尋斗（ひろと） くん

ぼくは、志柿小学校が閉校になることがとてもさびしいですが、最後の卒業生になれたことを、とても誇らしく思っています。

６年間で特に印象深かったことは、４年生のときに経験した社会科見学旅行です。今まであまり関心のなかった天草のことをよく知るきっかけになったし、天草の魅力に気づくことができたからです。

小学校生活では、たくさんのことを学びました。天草に住んでいたから、志柿小学校だったから学べたことはたくさんあったと思います。これからも志柿小学校で学んだことを生かして、がんばっていきたいです。

▲地域の皆さんと最後の運動会で記念の人文字

一番の思い出

6年
倉田 愛桜（あいさ） さん

私は、志柿小学校でたくさんの思い出を作ることができました。その中でも特に心に残っている行事は、運動会と柿の子フェスタです。

最後の運動会では赤団の団長を務め、みんなをまとめることの難しさを学ぶことができました。また、保護者や地域の皆さんが参加する種目もあり、多くの人と交流することができ、とても楽しかったです。

柿の子フェスタでは、今まで学習してきたことをみんなに分かりやすく発表することができました。見に来てくださった人に、平和の尊さや戦争の悲惨さをしっかりと伝えることができたと思います。

思い出がたくさんつまっている志柿小学校が閉校することは悲しいです。校舎はなくなってしまうかもしれないけど、私は志柿小学校で過ごした日々を忘れません。

◀全校児童で踊った柿ん子ハイヤ

瀬戸小学校

あゆみ

昭和 48　本渡市立瀬戸小学校創立
昭和 49　新校舎完成
昭和 52　プール完成
昭和 58　体育館完成、運動場造成
平成 18　天草市立瀬戸小学校と改称

わが母校に感謝

昭和57年度卒 現PTA会長
村上 泰三（たいぞう） さん

昭和48年、瀬戸大橋ができる前年に瀬戸小学校は開校しました。それから45年間、子どもたちを見守り、育ててきた校舎もその役割を終えようとしています。私も児童として６年、保護者として８年間、親子二代にわたりいろんなことを学ばせていただきました。

瀬戸小学校は、私たちにとって心の中に残り続ける「世界遺産」です。長い間ご苦労様、そしてたくさんの思い出をありがとう。

▲最後の運動会での記念写真

最後の６年生

創り築かん　おお 瀬戸小

６年　川峯 くるみ さん（＝写真前列の左から２人目）

45年間の歴史が、もうすぐ幕を閉じようとしています。私は、６年間この校舎で過ごしてきたので、とてもさびしいです。タイトルの言葉は、校歌３番の最後の歌詞です。私たち６年生は、この言葉を胸に学校をリードしてきました。１学期には、下級生や先生方から意見を聞いて閉校スローガン「永遠に心に残そう我らの瀬戸小学校、伝統を受け継いだ私たち、今未来にはばたこう！」を作って、みんなで心を１つに閉校の１年間を過ごしてきました。

たくさんあった出来事の中で、特に思い出に残っているのは、最後の運動会です。保護者や地域の皆さんも運動場に集まって写真を撮りました。予想よりもはるかに多くの人が集まってくれました。それだけ、瀬戸小学校が愛されていたんだなと実感できました。

１～５年生までのみんなは、新しい本渡東小学校でも瀬戸小学校で学んだことを生かして、新しい伝統を創り上げてほしいと思います。閉校と同時に私たち６年生は卒業します。瀬戸小学校最後の卒業生として、胸をはって夢に向かって羽ばたいていきます。ありがとう、瀬戸小学校。

大楠（だいなん）小学校

あゆみ

明治　８　楠甫（くすぼ）小学校創立
　　大浦小学校創立
　　須子小学校創立
昭和 63　有明町立大楠小学校開校（楠甫小と大浦小が統合）
平成　６　須子小学校と統合
平成 18　天草市立大楠小学校と改称

ありがとう 大楠小学校

平成７年度卒
田中 弘美（ひろみ） さん

我が子たちが通う大楠小学校は、私の母校でもあり、現在の校舎は私が通っていた頃とほとんど変わっていません。

そして、驚いたことに私たちの時代にもあった伝承遊びが今も学校行事として続いています。大楠小学校は地域の皆さんとの触れ合いを大事にし、それと共に子どもたちも成長してきました。

そんな思い出が詰まった大楠小学校がなくなることは、私も子どもたちも本当に寂しいですが、かけがえのない思い出を大切にし、この大楠小学校で学んださまざまなことをこれからの生活に生かしてくれることを望んでいます。

本当にありがとう！大楠小学校!!

最後の６年生

学んだことを忘れずに

６年　五嶋 憂姫（ゆうき） さん（＝写真後列の左から3人目）

私は４年生の時、大楠小学校に転校してきました。最初は不安でしたが、３年間でたくさんの思い出ができました。

心に残っていることの１つに毎年行われている伝承遊びがあります。地域の人に水鉄砲の作り方を教えていただき、とても楽しかったからです。私たちは地域の人をはじめたくさんの人に支えられてきました。中学生になっても大楠小学校で学んだことを忘れずがんばります。

▲閉校式のようす

▲児童全員と教職員で記念の１枚

島子小学校

あゆみ

明治 8　大島子小学校創立
昭和 16　島子国民学校と改称
昭和 22　島子村立島子小学校と改称
昭和 31　有明村立島子小学校と改称
昭和 33　有明町立島子小学校と改称
平成 18　天草市立島子小学校と改称

新しい学校での限りない成長に期待

昭和62年度卒 PTA会長
山川 道成（みちなり） さん

永遠にあるものと思っていた母校がなくなるとは思いもよりませんでした。児童の減少により、統合しなければならないという現実を、受け止めなければならないと痛感しています。

地域の皆さまにもご理解いただき、4月から新しい学校がスタートすることになりました。

未来ある子どもたちが、新しい学校で、勉強に、運動に、遊びに、一生懸命がんばってほしいと思います。そして限りなく成長することを心から願っています。

笑顔いっぱい、大好きな島子小学校

最後の６年生
〔後列〕**堤 凰雅（おうが）**くん・**沖津 春花（はるか）**さん・**角中 結衣（ゆい）**さん
〔前列〕**土屋 宥貴（ゆうき）**くん・**荒木 颯斗（はやと）**くん・**山川 絵理奈（えりな）**さん

今年は、島子小学校が閉校するということで、これまで以上に笑顔いっぱい、みんな仲良しの島子小学校にするために、51人のみんなでがんばってきました。

気がつけば楽しかった小学校生活もあとわずかになり、大好きな島子小学校も、143年の歴史を閉じます。とてもさびしいですが、島子小学校の最後の卒業生としての誇りを持って中学校へ進学したいと思います。そして、閉校しても島子小学校の素晴らしい歴史や島子を愛する心はつなげていきたいです。

▲最後の運動会での記念写真

▲昭和32年に撮影された島子小学校

浦和小学校

あゆみ

明治 8　上津浦小学校創立
　　下津浦小学校創立
昭和 59　有明町立浦和小学校開校（上津浦小と下津浦小が統合）
平成 18　天草市立浦和小学校と改称
平成 21　赤崎小学校と統合

笑い声いっぱい、浦和小学校

６年　**今福 琴美（ことみ）**さん（＝写真右から６人目）

浦和小学校のいいところは、いつも笑い声であふれていたところだと思います。男子も女子も、低学年も高学年も関係なく仲が良くて、笑顔が当たり前のような毎日でした。

地域の皆さんと触れ合えるのも、浦和小学校だからこそだと思います。こんな浦和小学校で過ごせてうれしかったです。たくさんの思い出を作ってくれた浦和小学校。私たちはずっと忘れません。ありがとう、浦和小学校。

最後の6年生

大好きな私の母校

平成12年度卒
河内 美貴（かわうち みき） さん

私たちのクラスは、長縄跳び連続千回に挑戦しました。記録が伸びずに毎回悔しい思いをしていたので、千回跳べた時にはみんなで喜びました。その時、私は仲間がいることの大切さを学びました。全員が心を一つにしないと成功しなかったでしょう。「みんながいるから絶対大丈夫!」という心強さが私を支え、自信を持たせてくれました。

たくさんの学びや出会いを与えてくれた浦和小学校は、いつまでも大好きな私の母校です。

第１回卒業生“轍（わだち）”

昭和59年度卒
松﨑 正光（まさみつ） さん

昭和59年４月、新６年生として浦和小学校の校舎に初めて足を踏み入れた時の感動は今も心に残っています。木造とは違う近代的な校舎、きれいな教室に多目的スペース、全員で集まって食べる給食棟、広い体育館、そして初めてのプール。すべてが真新しく、ここで学べる喜びにワクワクしたものです。

卒業生それぞれの人生の礎となっている浦和小学校。その最初の１ページに轍を残せたことが誇りであり、感謝いたします。